

エコアクション21 環境活動レポート

2018年度

(2018 年 4 月 ~ 2019 年 3 月)



2019年5月30日 発行

清興建設株式会社

目 次

1. 組織の概要・対象範囲	-----	1
2. 環境方針	-----	2
3. 環境目標とその実績	-----	3
4. 環境活動計画	-----	6
5. 環境活動の取組み結果とその評価及び今後の取組み	-----	8
6. 環境関連法規の遵守状況並びに違反、訴訟等の有無	-----	13
7. 代表者による全体評価と見直しの結果	-----	14



1.組織の概要・対象範囲

1-1. 組織の概要

- (1) 事業者名及び代表者 清興建設株式会社 代表取締役 原田 信一
- (2) 所在地 (本社事務所) 福岡市南区桧原7丁目40番5号
(資材置場・作業所) 福岡市早良区梅林7丁目15番6号
- (3) 環境管理責任者・連絡先
環境管理責任者: 代表取締役 原田 信一
連絡先: TEL 092-512-0161
FAX 092-512-3325
E-mail seikou@ace.ocn.ne.jp
URL <http://www.q-fukuoka.com/seikou/>
- (4) 事業規模
資本金: 2,500万円
売上高: 348 百万円(2018年度)
従業員数: 5人
床面積: (本社事務所) 117㎡
(資材置場・作業所) 436㎡
- (5) 事業内容 建築工事業(公共工事・ビル・工場・マンション・住宅・リフォーム)
福岡県知事許可(特-28) 第14548号
- (6) 事業年度 4月 ~ 翌年3月
- (7) 法人設立年月日 1968年4月1日

1-2. 認証・登録の対象組織・活動

- (1) 対象組織 清興建設株式会社 本社、資材置場・作業所
(本社事務所)福岡市南区桧原7丁目40番5号
(資材置場・作業所)福岡市早良区梅林7丁目15番6号
- (2) 対象活動 建築工事業(木造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造の新築工事及び改修工事)
- (3) 対象外組織 なし(全組織、全活動を対象とする)

2. 環境方針

【理念】

清興建設株式会社は、事業活動において生ずる環境への影響を考慮し、『未来からのあずかりもの』として環境をとらえ、次世代に引き継げるように、活動に取り組めます。

【行動指針】

1. 電力、燃料消費量の抑制により二酸化炭素排出量削減に取り組めます。
2. 廃棄物排出量削減のため、分別を積極的に行い、リサイクルを推進します。
3. 節水に努めます。
4. 化学物質の内容把握に努め、適正な使用を行います。
5. 省エネルギー型建築物の設計・施工提案及び耐震補強工事を推進します。
6. 地域貢献活動及びボランティア活動を行ないます。
7. 環境関連法規を遵守します。
8. フロンガス規制法に基づき点検を行います。
9. 環境活動レポートを作成し、公表します。

制定日 2011年10月1日

改訂日 2018年5月30日

清興建設株式会社

代表取締役 原田 信一

3. 環境目標とその実績

3-1 2018年度における環境目標の達成状況

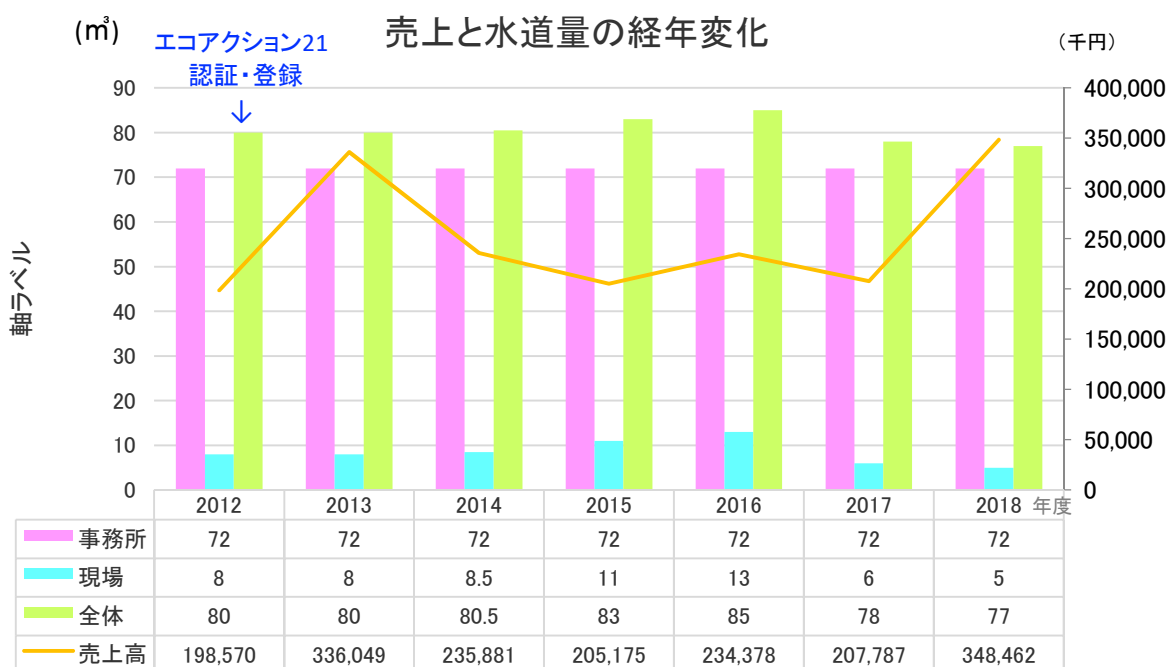
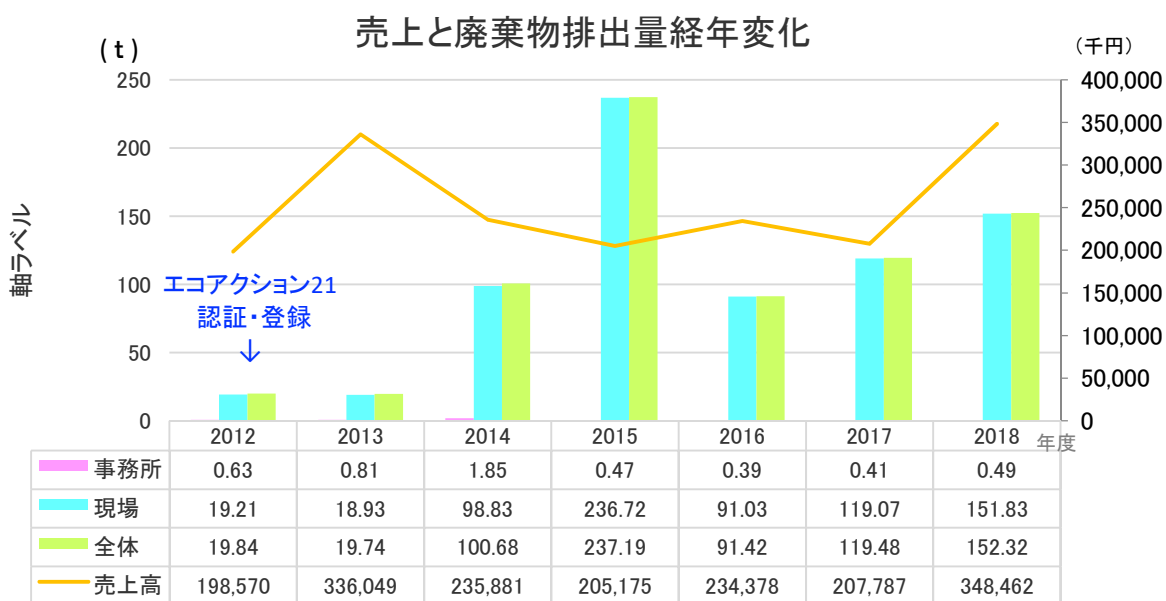
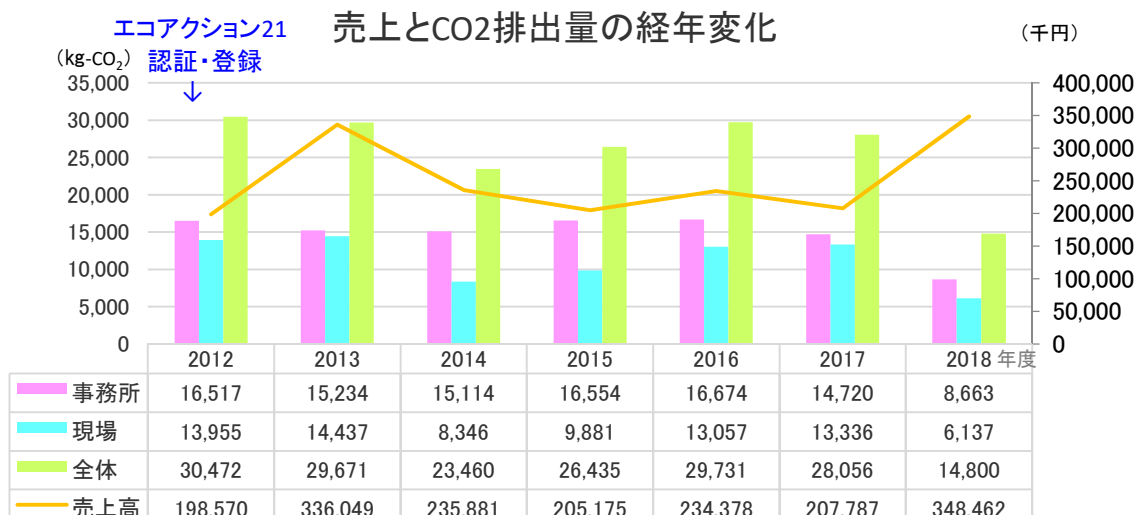
- ・環境目標は当社の事業活動を踏まえて、本社(事務所)で6項目8目標、資材置場・作業所及び建設現場で4項目7目標を設定しました。
- ・2018年度(2018年4月～2019年3月)の環境目標とその達成状況は、以下に示すとおりです。
- ・本社(事務所)は4項目6目標で目標を達成でき、CO2削減は排出量は大幅に削減できました。しかし、産業廃棄物と省エネルギー建築物については達成できませんでした。廃棄物は片付け等に伴う資源ゴミを廃棄したので一時的に増加しました。耐震診断は十分に行われましたが、直接工事に繋がることができませんでした。今後も目標達成に向けて取組を継続していきます。
- ・資材置場・作業所及び建設現場においては、全項目で目標を達成できました。

環境目標	単位	2017年度 (基準年)	2018年度 (2018年4月～2019年3月)		目標達成率	目標達成状況		
		実績値	目標値	実績値				
本社 (事務所)	1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	14,720	13,392 (2%削減)	8,663	155%	◎
		1-1. 電気使用量の削減	kWh	8,715	8,540 (2%削減)	7,028	122%	◎
		1-2. ガソリン使用量の削減	ℓ	4,148	4,065 (2%削減)	2,330	174%	◎
	2	総排水量(給水量)の削減	m ³	72	節水に努める	72 節水に努めた	100%	○
	3	廃棄物(一般廃棄物)の削減	kg	324	317 (2%削減)	436	73%	×
	4	省エネルギー型建築物の設計・施工提案及び耐震補強工事の推進	件 (現場数)	11	11	8	72%	×
	5	地域貢献活動及びボランティア活動への参加	回数	4	4	9	225%	◎
6	フロン排出抑制法に基づきエアコンの簡易点検	回数	4	4	4	100%	○	
資材置場・ 作業所及び 建設現場	1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	13,336	12,057 (2%削減)	6,137	196%	◎
		1-1. 電気使用量の削減	kWh	12,077	10,014 (2%削減)	1,553	645%	◎
		1-2. ガソリン使用量の削減	ℓ	2,947	2,888 (2%削減)	2,238	129%	◎
		1-3. 軽油使用量の削減	ℓ	201	196 (2%削減)	85	231%	◎
	2	リサイクル可能な産業廃棄物を分別回収する	% (再資源化率)	80.3	分別を徹底する	分別を徹底した	-	○
	3	総排水量(給水量)の削減	m ³	6	6	5	120%	◎
	4	化学物質の適正な管理	kg	-	適正管理に努める	適正管理に努めた	-	○

備考)・事業年度は4月～翌年3月の期間。

- ・二酸化炭素排出量の購入電力については、九州電力㈱の2017年度実排出係数(0.463kg-CO₂/kWh)を用いて算出した。
- ・2018年度の総排水量は井戸水使用の実数量把握が困難な為、福岡市下水道使用量の数値で示した。
- ・()は基準年に対する目標値の増減比率を示す。
- ・目標達成率の計算:削減目標の場合=目標値÷実績値×100 増加目標の場合=実績値÷目標値×100
- ・目標達成状況区分 ◎:目標達成率120%以上 ○:100%以上120%未満 △:80%以上100%未満 ×80%未満

〈これまでの取組実績〉



3-2. 今後の環境目標(中・長期目標)

・2019年度以降の中長期の環境目標は、以下に示すとおりです。

環境目標		単位	単年度目標	中・長期目標			
			2018年度 (実績値)	2019年度	2020年度	2021年度	
本社 (事務所)	1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	8,663	8,576 (1%削減)	8,576 (1%削減)	8,576 (1%削減)
		1-1.電気使用量の削減	kWh	7,028	6,957 (1%削減)	6,957 (1%削減)	6,957 (1%削減)
		1-2.ガソリン使用量の削減	ℓ	2,330	2,306 (1%削減)	2,306 (1%削減)	2,306 (1%削減)
	2	総排水量(給水量)の削減	m ³	72	節水に努める		
	3	廃棄物(一般廃棄物)の削減	kg	436	431 (1%削減)	431 (1%削減)	431 (1%削減)
	4	省エネルギー型建築物の設計・ 施工提案及び耐震補強工事の 推進	件	8 (耐震補強)	8	8	8
5	地域貢献活動及びボランティア 活動への参加	件	9	9	9	9	
資材置場・ 作業所及び 建設現場	1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	6,137	6,075 (1%削減)	6,075 (4%削減)	6,075 (4%削減)
		1-1.電気使用量の削減	kWh	1,553	1,537 (1%削減)	1,537 (1%削減)	1,537 (1%削減)
		1-2.ガソリン使用量の削減	ℓ	2,238	2,215 (1%削減)	2,215 (1%削減)	2,215 (1%削減)
		1-3.軽油使用量の削減	ℓ	85	84.15 (1%削減)	84.15 (1%削減)	84.15 (1%削減)
	2	リサイクル可能な産業廃棄物を 分別回収する	% (再資源化 率)	77.2	分別を徹底する		
	3	総排水量(給水量)の削減	m ³	5	5	5	5
	4	化学物質の適正な管理		-	現場における化学物質含有製品と使用量の把握		

備考)

- ・二酸化炭素排出量の購入電力については、九州電力㈱の2018年度調整後排出係数(0.347kg-CO₂/kWh)を用いて算出した。
- ・※井戸水使用の実数量は把握が困難な為、福岡市下水道使用量の数値を示した。
- ・()は基準年の削減率を示す
- ・計画に不都合があれば毎年見直す

4. 環境活動計画

- ・環境目標を達成するため、本社(事務所)と資材置場・作業所及び現場で以下の取組みを行いました。

4-1 本社(事務所)

(1) 二酸化炭素排出量の削減

① 電気使用量の削減

- ・照明の管理徹底(使用していない部屋及び休憩時の消灯)
- ・空調の適温化(暖房20度、冷房28度)
- ・パソコン等の事務用機器の節電徹底(コンセントをこまめに抜く)
- ・クールビズ、ウオームビズの推進

② ガソリンの使用料削減

- ・エコドライブの推進
- ・アイドリングストップ
- ・タイヤの空気圧のチェック

(2) 総排水量(給水量)の削減

- ・蛇口はこまめに閉める(水の出っぱなしをやめる)
- ・洗車はバケツに水を入れて行なう

(3) 廃棄物(一般廃棄物)の削減

- ・排出量の計測(現状の把握)
- ・廃棄物の分別を決め、実行する
- ・使用済み用紙の裏面利用

(4) 省エネルギー型建築物の設計・施工提案及び耐震補強工事の推進

- ・太陽熱利用住宅(OMソーラーハウス)を推進する
- ・木造住宅の耐震診断をして、補強工事を提案する



耐震診断中

(5) 地域貢献活動及びボランティア活動への参加

- ・地域の清掃活動に参加する
- ・地域のお祭りで舞台を設営する
- ・空き家パトロールへの参加

(6) フロン排出抑制法に基づくエアコンの簡易点検

- ・異常振動や油のにじみがないかを目視点検する
- ・腐食、錆やキズ、霜がついていないかを目視点検する

4-2 資材置場・作業所及び建設現場

(1) 二酸化炭素排出量の削減

① 電気使用量の削減

- ・照明の管理徹底(作業していない場所及び休憩時の消灯)

② ガソリン、軽油使用量の削減

- ・段取りをよくし、無駄な移動をしない
- ・エコドライブの推進

(2) リサイクル可能な産業廃棄物を分別回収する

- ・廃棄物の分別を徹底し、再資源化に努める
- ・余分な材料を注文しない。
- ・発注間違いをなくす。
- ・産業廃棄物の適正処理(委託契約書・マニフェスト伝票)

(3) 総排水量(給水量)の削減

- ・蛇口はこまめに閉める(水の出っぱなしをやめる)

(4) 化学物質の適正な管理

- ・安全データシートを取り寄せる。
- ・化学物質含有製品の把握
- ・塗料・接着剤等使用時の製品の検討

5. 環境活動の取組み結果とその評価及び今後の取組み

・2018年度における環境活動の取組み状況及び今後の取組みは以下のとおりです。

5-1 本社(事務所)

(1) 二酸化炭素排出量の削減



<電気使用量の削減>

- ・照明の管理徹底は、使用していない部屋、休憩時の消灯はなるべく消すように心掛けた。
 - ・空調の適温化の取組みでは、熱中症指数を取り入れ適温28℃を目安に猛暑時などは臨機応変に対応した。
 - ・パソコン等の事務機器の節電徹底はほぼ出来ていると思います。
- 2018年度の電気使用量は目標達成率122%となっています。目標は達成できましたが、引き続き取組みを継続し、活動を推進します。



エアコンの温度設定



温度計と熱中症指数を示すWBGT

夏は熱中症に気を付けて温度を設定しています。
冬はウォームビズで環境に配慮しました。



<ガソリン使用量の削減>

- ・目標達成率は174%で削減目標を大きく達成しました。遠方の現場があまりなかった事や耐震工事が落ち着いてきたことありますが燃費の良い車に買い替え事もあり、エコドライブの推進と効率よく動けた事が良かったのではないかと考えています。
- これからも意識を高めて取組んで行きたい。



2017年に購入



2018年に購入

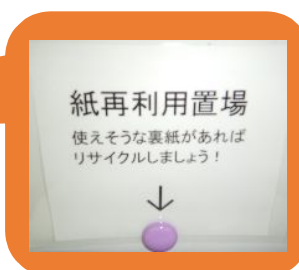
(2) 総排水量(給水量)の削減

- ・事務所は、井戸水の利用をしている為、蛇口をこまめに閉めること、洗車はバケツで水を溜めて使う等、取り組んでいます。引き続き取り組み目標として掲げ、活動を推進していきます。



(3) 廃棄物(一般廃棄物)の削減

- ・社員の意識も浸透し、使用済み用紙の裏面利用や、ゴミを減らすという意識を高め行動に取り組みましたが、旧カタログの整理で一時的に廃棄量が増えた為、目標達成率は73%に止まりました。今後も無駄な印刷、ゴミを出さない努力を行い、引き続き取り組み目標達成を目指します。



(4) 省エネルギー型建築物の設計・施工提案及び耐震補強工事の推進

- ・エコリフォーム(断熱窓改修、断熱材充填)、太陽光発電、OMソーラーハウスの設計・施工依頼がなく、目標を達成できませんでした。今後もお客様に提案していきます。
- ・住宅耐震診断を継続して行った結果、耐震改修工事は目標件数に達することができませんでしたが、依然として関心も高いことから、引き続き、次世代にわたり使用可能な耐震改修工事、リフォーム工事支援を行います。



耐震セミナーの様子

市と協力して、耐震化を推進しています。
みなさん熱心にメモをとったり、質問したりと、話に耳を傾けていらっしゃいました。



(5) 地域貢献活動及びボランティア活動への参加

- ・地域子供育成の為の廃品回収に提供し、地域の子供の為に役に立っています。
- ・町内清掃の定期的な地域の行事参加や2年に1度の夏祭りの舞台作り、『こども110番の家』も積極的に参加し地域環境の保全に取り組んでいます。



地域の公園掃除に参加しました。この写真は9月でまだまだ残暑厳しく気温が高かったので熱中症に気を付けて活動しました。



空き家パトロール



当社は福岡防災機構に加入しており、福岡市内の担当地区を2か月に1度のペースで空き家をパトロールしています。事前に空き家を把握することで、倒壊の恐れのある建物の把握や自然災害時は協力要請にて応急処置などを行います。

ペットボトルキャップ回収運動

～キャップをリサイクルして途上国の子どもにワクチンを贈ろう～

『世界の子供にワクチンを』
ワクチンで助かるちいさな命を救いたい。
世界でワクチンがないために命を落とす子どもは、
20秒に1人。
私たちは20年以上前からこの活動に賛同し、微力な
がら世の役に立てればと参加しています。

私達にできる事をコツコツと！



御存じですか？あなたの切手でできること



『使用済み切手運動』
私が入社した当初から『切手は切り取って別箱に！』と教わってきました。
使用済み切手で命を救えると知り、この運動
に参加してかれこれ30年くらいになるとの事。
使用済み切手で人助けの一端を担えてうれし
く思います。
これからもずっと続けていきます。

約**5,000**枚

タンザニアで
約1年分の看護学校の
教科書代になります

約**22,000**枚

ウガンダで
助産師学校の
1か月間の
学費になります

約**80,000**枚

バングラデシュで
理学療法の技術や理論
を学ぶ研修費用
になります

(6) フロン排出抑制法に基づくエアコンの簡易点検

- ・異常振動や油のにじみがないかを目視で点検し、異常は見受けられませんでした。
- ・腐食、錆やキズ、霜がついていないかの点検では、屋根のある所に置いているので、激しく腐食することや錆も少なかったです。



5-2 資材置場・作業所及び建設現場

(1) 二酸化炭素排出量の削減

<電気使用量の削減>

- ・目標値と比較すると随分と削減できたと思います。理由としては、現場での使用があまりなかったという事です。これからも削減に努力したい。

<ガソリン・軽油使用量の削減>

- ・ガソリン使用量は、現場の担当者が1名退職し、稼働率はその分少なくなった為、目標達成率は129%となっています。取組み目標は今後も変わらず、活動を推進していきます。
- ・軽油使用量についても目標達成率は231%となっています。(これは今年度は稼働率が低かった為と考えられま



2017年に購入

(2) リサイクル可能な産業廃棄物を分別回収する

- ・分別回収可能な産業廃棄物の分別を徹底し、再資源化を向上したいと思います。
- ・引き続き取組み目標として掲げ、活動を推進していきます。



(3) 総排水量(給水量)の削減

- ・資材置場・作業所は、市水の為一定の基本料金は発生します。
- ・目標に対し少しは削減できました。

(4) 化学物質の適正な管理

- ・化学物質含有製品の把握の為、安全データシートを取り寄せ、PRTR法に抵触する物質の把握に努めました。今後もより安全で、適正な使用に努めます。

6 環境関連法規の遵守状況並びに違反、訴訟等の有無

- ・2018年度の環境関連法規の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。
- ・また、関係機関等からの違反等の指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

7-1 取組みの評価結果

- ・CO₂排出量は事務所では30%(目標達成率155%)、現場・作業所では50%(目標達成率196%)の削減に成功しました。本社事務所の電気使用量も18%削減(目標達成率122%)し、現場・作業所では今年大型工事がなかった事もあり、88%の削減となりました。
ガソリン使用量も事務所が43%(目標達成率174%)、現場が23%(目標達成率129%)の削減に成功した。燃費の良い車に買い替えた事や、車に燃費消費量が表示される車もあり、意識することが出来る環境にした事も理由の一つかもしれません。今後もアイドリングストップやエコドライブを意識して目標を達成できるようにしていきます。
- ・総排水量(給水量)の削減については、事務所は井戸水利用(使用量不明)の為、しっかり取組みを継続していきます。資材置場・作業所は、2017年度基準に対して、僅かに削減することができました。現場としてもなるべく節水を心掛け取組んでいきます。
- ・廃棄物(一般廃棄物)の削減は事務所で37%(目標達成率73%)増加しました。これは、事務所内の書類の一斉片付けで一時的に排出量が増えたためです。
一方現場では分別回収・再資源化の取組みを行った結果、リサイクル率77.2%となりました。意識を高め今後もっと無駄を削減する努力をしていきます。
- ・省エネルギー型建築物の設計・施工提案及び耐震補強工事は、少し落ち着いた感じではありますが、引き続き、提案、推進を行っていきます。
- ・地域貢献・ボランティア活動は、町内清掃、子供110番の家や耐震セミナーなど積極的に参加しました地域との交流を深め繋がりを増やしていきたいです。
- ・化学物質は塗料など現場での使用に限るので保存することはありませんが、PRTR法を理解した上で使用し、なるべく有害となる物を減らせるよう、下請業者と協力を図っていきます。

7-2 環境システムの評価結果

- ・このシステムを効果的に運用するため、今後も以下の周知活動等に取組みます。
 - ①現場においては、ポスター掲示やセミナーなどで周知徹底を行い、関連業者の方々も共に取組めるよう環境を整えていきます。
 - ②外部関係者に対しては会社ホームページで取組み活動を公表していきます。
 - ③今後も環境関連法規等の遵守に努めていきます。

7-3 見直し結果

- ・耐震補強工事も以前より落ち着いた感があり、また車輛の更新等も行っているため環境目標については全般的にその妥当性を含めて見直していきます。
- ・その他目標についても、実態にあった形で必要な見直しを行っていきます。